**平成30年度第1回府立図書館指定管理評価委員会議事概要**

日時：平成30年5月23日10時00分～

場所： 中之島図書館　別館２階会議室

出席委員：明定委員長、泉委員、江本委員、鮫島委員

**中之島図書館評価票について**

**Ⅰ提案の履行状況に関する項目**

**（３）利用者の増加を図るための具体的手法・効果**

**②　提案された情報発信プランに沿った広報が実施されているか**

委員：ＳＮＳの反響があった指数としてフォロアー数を取り入れているのは結構。ＨＰについても発信回数を目標値設定しているのであれば、その反響の指数としてアクセス数についても目標値設定すべきではないか。

事務局：アクセス数の目標値を追加する。

**③　多目的スペースの利用について、施設のコンセプトに合った活用方法を提示し、目標利用率・目標収入額の達成のための取組みが適切に実施されているか。**

委員：実績に基づいて目標値を設定されたことで、有料貸出の稼働率目標が7.49％となっているが、府の施策としては有料利用の稼働率・収入額についてどのように考えているのか。

事務局：最終的には提案書に記載された数値を目指し、稼働率を上げていっていただきたい。但し、今年度の評価票としては、現実的な目標値を設定し、最低限その目標値は達成していただきたいと考えている。

委員：稼働率について、当初の予定していた数値よりも実績が大幅に下回る原因について、既にある規制、指定管理側に変更できない事由により稼働率を上げられない等、何がネックになり当初の目標値が達成できないのか、分析すべき。

事務局：最初の目標設定時に、もともと会議場所として建てられ認知されている中央公会堂稼働率等を参考にしたが、本来図書館であった建物を利用して設置したレンタルスペースとは、性質がもともと相違しており、参考数値として取り入れるのは間違っていたかと考えている。次回の選定時には考え直したいと考えている。

現状の中で、数字をあげていただきたいため、今年度は実績を基本としつつ、過去２年を上回る数値を目標値としてあげている。

何がネックになっているのかについては、現時点で分析できていない。今年度は７．４９を目標に運営いただき、結果どの程度達成できたか、数字を示すだけでなく、目標達成できた原因、もしくはできなかった原因について、指定管理者と話し合いの場を持ち、その結果について分析を行って、次回の評価委員会で報告する。

**Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目さらなるサービスの向上に関する事項**

**(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤**

委員　：経営状況と財務状況を1つの基準として統合されているが、経営状況と財務状況は別物であるため、分けて評価した方がよいのでは。

事務局：分けるようにする。

**まとめ**

委員長：・Ⅰ（３）②については、ＨＰのアクセス数目標値を追加してください。

　　　　・Ⅰ（３）③に関して、有料貸出についてのネック等について分析し報告してください。

　　　　・Ⅲ（３）について、経営状況と財務状況を分けて評価してください。

**中央図書館評価票について**

**Ⅰ提案の履行状況に関する項目**

**（４）サービスの向上を図るための具体的手法・効果**

**①カフェスペースの運営について、図書館の利用者ニーズに対応した取組みが適切に実施されているか**

委員：前回の評価委員会にて、開館日（第４木曜日）にカフェスペースの休業日を設定したことが問題となっていたがどうなったのか。営業日について評価の基準とはしないのか。

図書館：カフェの営業日については、４月の第４木曜日から営業を再開している。水準書に記載がある内容であるため、評価票中には記載していない。

**Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目さらなるサービスの向上に関する事項**

**(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤**

事務局：中之島図書館と同様に、経営状況と財務状況の基準を分けるようにする。

**まとめ**

委員長：・Ⅲ（３）について、経営状況と財務状況を分けて評価してください。

委員長：本日の委員会での意見について、事務局で検討し、最終的な評価票を作成してください。評価票ができれば、事務局から委員の皆様に報告するようお願いいたします。

司　会：次回の評価委員会については、30年12月を予定しています。